

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆

令和4年2月発行
No.84
12月定例会



12月定例会	2
第5回臨時会	5
町政を問う(一般質問)	6
地方再生特別委員会報告	8
常任委員会報告	9
町民の声	11

初日の出 (清栄山から撮影)

令和3年 第4回12月定例会

(令和3年12月10日開会)

令和3年 第4回定例会は、12月10日から17日までの8日間開催され、承認2件、諮問1件、議案9件を審議し、原案のとおり可決した。

人事案件



田上農夫男 氏

人権擁護委員 候補者の推薦

人権擁護委員 佐伯 一美氏（大字上色見）は、令和4年3月31日で任期を満了されることに伴い、後任に田上農夫男氏（大字上色見）を適任と認め、推薦することを可決した。

専決処分の承認を求めることについて

(令和3年度高森町一般会計補正予算第9号) 及び (令和3年度高森町一般会計補正予算第10号)

事業名	概要	事業費
(第9号) 農業経営収入保険加入促進事業補助金	台風、降灰被害などの自然災害や病害虫・有害獣・市場価格の低下・新型コロナウイルス感染症の影響など、農業者の収入が減少することが懸念されている。農業経営をする中で、様々なリスクによる収入減少に対応できる収入保険制度へ加入促進の取組みを行い、経営の安定や生産維持・拡大を図る。	事業費 144万円 ふるさと応援寄附金 144万円 町の負担 0円
(第10号) 子育て世帯への臨時特別給付金事業	新型コロナウイルス感染症が長期化する中、子育て世帯を支援する観点から、高校生世代までの子どもがいる世帯に対し、給付金を支給する。 【対象児童】平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた子ども 【給付額】対象児童1人当たり5万円（最終日、追加議案にて10万円一括給付で可決）	事業費 4,669万円 補助額 4,669万円 一般財源 0円

令和3年度 一般会計補正予算

3億4,144万5千円を追加

予算総額 78億5,082万6千円

国・県補助活用事業

避難行動要支援者避難支援整備事業

災害時に、災害弱者がどのような避難行動をとればよいのか、あらかじめ自ら確認できるようにするため、一人一人の状況に合わせた個別避難計画を作成する。今後、3年間で名簿整備及び個別避難計画、支援体制構築に取り組む。

事業費	補助額	一般財源
104万円	52万円	52万円



防災公園

園芸産地における事業継続強化対策補助金

複数農業者による共同の事業継続計画を策定し、計画に基づく事業の継続やハウスの補強、非常時の復旧の取り組み実証等を支援する。

事業費	補助額	事業者負担
362万円	164万円	198万円



ヒゴムラサキを生産しているハウス

南鉄復興応援基金活用事業

南鉄高森駅周辺再開発電気設備詳細設計補助

南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づく本町の施策として、南阿蘇鉄道の始発・終着点である高森駅を『定住』『観光』『防災』によるまちづくりの最重要拠点施設として再整備する『南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発事業』実施に伴い、列車停車位置の変更が生じる。

そのため、新たな鉄道信号設備等整備をする必要がある。

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
280万円	280万円	0円



高森駅のホーム

令和3年12月定例会 主な質疑応答

議案第60号

令和3年度一般会計補正予算について

質

〔後藤蔵議員〕

今回の補正3億円を追加して約19億円。高森町の返礼品が他の自治体と比べ弱いで飛躍的に寄附金が伸びている要因は何か。



返礼品のイメージ

答

〔政策推進課長〕

今年伸びた原因は昨年から組んでいる肉やブレンド米で寄附額が伸びている。他の市町村も同じような取組をしており、来年度からは急激な伸びは難しいかもしれない。

今後は、先を見越したマーケティングの戦略が必要である。



返礼品のイメージ

質

〔後藤蔵議員〕

町長が将来の子どもたちの負担を軽減するという話しているなか、ふるさと納税の寄附金をどのような形で使っていくのか。

答

〔町長〕

去年は、全国的に6千億円の市場だったが今年は8千億円くらい

になると思われる。

少なくとも小さな自治体が自主財源のツールとして重宝していくこと、出口が町民や地域というのは間違いない。納税者が選択した寄附の使い方が大前提。

質

〔牛嶋議員〕

3回目も集団接種で行う予定とのことだが、接種会場のリース料はどのくらいか。



集団接種会場

答

〔住民福祉課長〕

今年度末迄で約550万円で

議案第65号

令和3年度一般会計補正予算について

質

〔牛嶋議員〕

子育て世帯の臨時特別給付金の対象児童数は何人か。また、所得制限を超える世帯はあるか。

答

〔住民福祉課長〕

対象児童数は880人で予算計上しており、所得制限を超える世帯もある。



子育て支援センターの活動風景

令和3年 第5回臨時議会

(令和3年10月25日)

承認第10号 専決処分の承認を求めることについて

(高森町一般会計補正予算第7号)

936万8千円を追加

総額予算 68億3,327万7千円

ふるさと納税活用事業

予防接種助成拡大事業

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐため、昨年度に引き続きインフルエンザ予防接種費用を全額助成する。

12歳未満の子どもは新型コロナワクチンの接種ができない状況のなか、インフルエンザの予防接種を推進することで『医療機関の負担軽減』『医療費の削減』を図る。

なお、助成期間は令和3年10月1日～12月31日迄



事業費	補助額	ふるさと応援寄附金	町の負担
937万円	0円	937万円	0円

議案第56号

令和3年度高森町一般会計補正予算について

6億2,797万6千円を追加

総額予算 74億6,125万3千円

エアドッグ高機能空気清浄機購入

町内すべての学校教育施設及び保育施設等に高機能空気清浄機を設置し、多くの医療施設で導入されている高性能空気清浄機を設置することで、短時間で空気をきれいにし、よりよい環境の元で学校生活等を送ることが期待できる。

事業費	補助額	ふるさと応援寄附金	町の負担
1,055万円	0円	1,055万円	0円

一般質問

外国人労働者の生活支援

交付金等を活用しながら具体的な施策を

住民福祉課長

協議会設立の準備会を今年度内に開催する



質問 昨年9月定例会において協議会の設立を提案したが、現在までの進捗状況は。

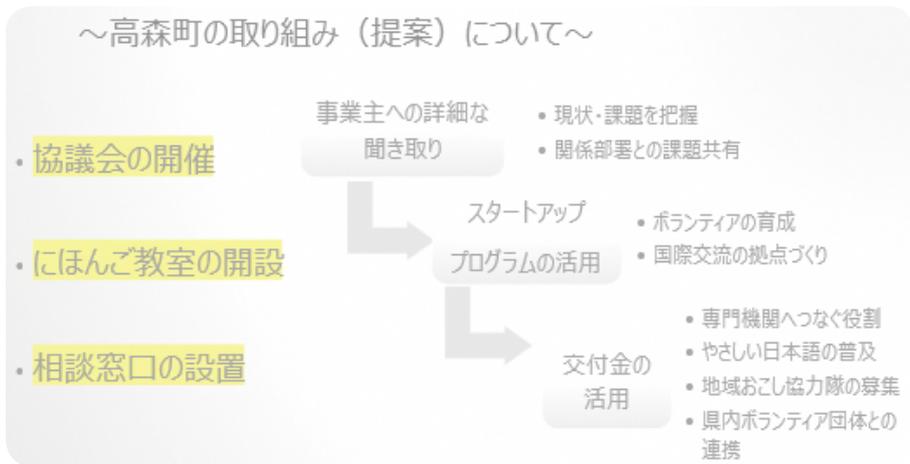
昨年9月定例会において協議会の設立を提案したが、現在までの進捗状況は。

住民福祉課長 県の取組や他市町村の事例について情報収集を行ってきた。

県の取組や他市町村の事例について情報収集を行ってきた。

質問 他町では周囲に相談する機会を持つて孤立化した技能実習生による悲しい事件が発生した。労働力の資源としてだけの評価ではなく、弱い立場のひとりの人間として対応することが各自治体の責務であると考え、今後の詳細な行程、計画について伺う。

他町では周囲に相談する機会を持つて孤立化した技能実習生による悲しい事件が発生した。労働力の資源としてだけの評価ではなく、弱い立場のひとりの人間として対応することが各自治体の責務であると考え、今後の詳細な行程、計画について伺う。



住民福祉課長 協議会の設立が重要と認識している。構成員や内容を抽出するため事前の準備会を今年度内に開催する。県の事業や交付金の情報を得ているので、事業主に提供し今後の方向性について協議したい。

津留 智幸 議員

5人の熱弁

後藤 三治 議員

ポイントチャンネル再放送

一般質問の一部を削除し放送したのは誰か

総務課長

放送審議委員会から答申を得て、最終的な判断は議長が行った



質問 9月議会定例会で、私の一般質問「議長不信任案可決に起因した町道大戸ノ口・本河原線及び町道片山・下山線」のこれまでの経緯と今後について」は、各家庭のポイントチャンネルで生放送された。この生放送を視聴いただけなかった方々から再放送の問い合わせをいただく中、11月中旬から始まった再放送を見ますと、私の質問の大部分が削除され放送されており、町民の皆様から「内容のない質問でがっかりした。また、質問の詰めが甘いのでは。」等々の厳しいご意見もいただいている。

9月議会定例会で、私の一般質問「議長不信任案可決に起因した町道大戸ノ口・本河原線及び町道片山・下山線」のこれまでの経緯と今後について」は、各家庭のポイントチャンネルで生放送された。この生放送を視聴いただけなかった方々から再放送の問い合わせをいただく中、11月中旬から始まった再放送を見ますと、私の質問の大部分が削除され放送されており、町民の皆様から「内容のない質問でがっかりした。また、質問の詰めが甘いのでは。」等々の厳しいご意見もいただいている。

議会議員にとって一般質問は最も大事な活動であり、発言の場でもある。その一般質問が一部削除され放送されたことは、私自身、驚きと同時に、この再放送で削除した内容を決められた関係者へ

不信感で一杯である。今回の再放送で、私の一般質問を誰の指示で削除されたのか。また、責任をどう考えておられるのか伺う。

不信感で一杯である。今回の再放送で、私の一般質問を誰の指示で削除されたのか。また、責任をどう考えておられるのか伺う。

総務課長 一般質問の再放送に際し、第三者で構成する放送審議委員会に議長が諮問され、答申を得て議会運営委員会が決定するというのを聞いています。最終的には議長が見られて判断されたと思う。

一般質問の再放送に際し、第三者で構成する放送審議委員会に議長が諮問され、答申を得て議会運営委員会が決定するというのを聞いています。最終的には議長が見られて判断されたと思う。

町長 ポイントチャンネルの責任者として職員が行うや行政としての瑕疵があったことについての責任は私が負うことになる。

人権・差別・LGBT

選挙入場券関係の性別表記は

総務課長

次回の選挙から性別表記を変更



問 性同一性障害について質問する。先の国政選挙で入場券や他の関係書類に性別表記の配慮があったのは、県内28市町村で性別表記・性別記入欄がない。高森町の選挙関連で本人確認の伴う性別表記の現状、今後の対応は。

総務課長 選挙の入場券は表果の報告、投票録に男女別に数字を記入する必要があり、名簿と二重確認のため表記しているが、今回の選挙からは表記の方法を変更するように考えている。投票所でも性別を聞かず生年月日で確認するようにする。

問 町長は個人の意見としてLGBTについてはどの様な見解を持っておられるか。

町長 私個人の考えでは、多様性を認め理解する。個々の意識が自然に高まることが不可欠と

思う。性的少数派に対する偏見をなくすことが大事、一人一人が正確な情報を理解し自然な流れで肯定的なメッセージを出すことが重要。

問 トランスジェンダー(性同一性障害)に関して、高森中学校・義務教育学校の制服は個性を考慮して、女子の制服をブレザーとパンツに変えることなど検討されているか。

教育委員会事務局長 高森中学校・義務教育学校につきましては、要望がありませんが、現時点では変更・検討の予定はない。

問 特に検討はしてないと言ったことだが、事例が発生してからは遅い。検討されるのにも必要ではないか。

※LGBT

L (レスビアン) G (ゲイ)

B (バイセクシュアル)

T (トランスジェンダー)

県立高森高校の魅力化

エンタメ業界との連携

町長

相乗効果が期待される



問 エンタメ業界と連携したまちづくりと県立高森高校の魅力化のビジョンは。

町長 執行部、議会、町民の皆様を理解しておいていただかなければならないことがある。それは、目前まで迫っている人口減少社会の到来である。

この人口減少がもたらす少子化による高校の存続問題を、ピンチではなく絶好のチャンスととらえて、「新科漫画関連学科」による連携である。令和元年度にエンタメ業界と連携したまちづくりの連携協定の締結をする中でも、最初から、今回の高森高校への漫画関連学科の設置については、両者で構想を描くことができていた。

今後は、漫画関連学科生徒の出口、いわゆる進路対策や、学区外からの

入学生徒増加を見据えた受入対策等についても対策を講じなければならぬ。生徒が増えることによる地域経済への効果、産業の振興と新たな取組み等や、漫画に夢を持つ中学生や保護者、エンタメ業界からの全国的な注目、高森町としての情報発信による相乗効果が期待される。

町の受け入れ態勢については、教育委員会と協議し、来年度より新セクションを教育委員会事務局に設置し、全庁体制でプロジェクトチームを立ち上げ熊本県立高森高校の漫画関連学科開設に向け取り組んで行く。

牛嶋津世志議員

5人の熱弁

立山広滋議員

高森町民体育館の適正なあり方

公共施設あり方検討協議会の経過について



生活環境課長 適切な答申案を作成する

質問 第1回公共施設あり方検討協議会から第3回までの経過について伺う。

生活環境課長

第1回目は8月10日に開催し、町民

体育館の雨漏りに関することや利活用の方法について意見交換がなされた。

利活用の方法については、床を改修し多目的に利用してはどうかという意見や、屋内テニスコートは他に少なく価値のある施設であるといった意見が出された。

第2回目は10月12日に開催し、町民体育館の建築設計に携わった設計会社の社長に参加していただき、雨漏りを止めるためには約1億2千万円の費用をかけて、施工後10年間の保証が付く屋根全体の改修工事を行うことが有効との説明を受けた。委員からは、構造的な問題を抱えた体育館に億単位の費用をかけるよりも

別の場所に新しい体育館を建てた方が良いという意見や、現在の体育館を解体して建て替えた方が良いという意見、雨漏り改修工事を行い現在の体育館を有効活用した方が良いといった意見が出された。

第3回目は11月10日に開催し、これまでの意見を集約したA案とB案の2つの案に絞って検討を行った。A案は、屋根改修工事を実施し、今後25年間使用できるよう長寿命化と多用途化を図る。B案は、屋根改修工事を実施せず現状維持のまましばらく使用し、将来的な建て替えを今後検討していく。様々な意見がありました。最終的には無記名投票により多数決でB案の建て替え案を基本として、第4回目の協議会で町長への答申案を作成する予定となっている。

地方再生特別委員会報告 (12月15日)

新型コロナウイルスワクチン接種実施計画(3回目)について

第3回目の新型コロナウイルスワクチン接種実施計画について、住民福祉課より詳細な説明を受け、今回はワクチン供給の関係でファイザー社製とモデルナ社製の併用になるとのことであった。

今後は、たかもりポイントチャンネル、ホームページ、広報誌等で、町民の皆様方にも周知をしていく旨の報告を受けた。

■ワクチン接種スケジュール(予定)

	対象者	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降
医療従事者等	約200人	接種券準備	接種券発送	12月上旬から			
高齢者及び高齢者施設等従事者	高齢者 約2,500人 高齢者施設等従事者 約200人		接種券準備	接種券発送	1月上旬から		
一般の方(18歳以上)	約2,200人				接種券準備	接種券発送	3月上旬から

※接種券は地区ごとに順次発送

※ワクチンの供給状況により開始時期が変更となる場合があります。

集団接種開始

総務文教常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和3年度高森町一般会計補正予算」について、担当者から詳細に説明を受け審議した。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算

担当者から詳細に説明を受け、審議した結果可とすることに決した。

【主な質疑事項】

質 ふるさと納税活用事業で今後の096k熊本歌劇団の全国巡業を見据え、本町のPRを兼ねた出張公演用のトラック購入予算のための補助金が計上されているが、2トントラックでは小さくはないか。

答 2トン以上のトラックになると現公演先の熊本城彩苑のゲートを通過できないこと、運転手の確保や積み込み量等を考慮し、コアミックスとも協議し決定したものである。

質 車両ラッピングについてのどのようなデザインを考えているのか。

答 今後協議して行くことになるが十分本町のPRが出来るようなデザインにしたい。

質 デザインにQRコードを取り入れたらどうか。

答 良い提案であり検討したい。



質 各方面から096k熊本歌劇団の出演依頼が多くなると思われるが出演費用について整理されているのか。

答 出演依頼が多くなることが想定されるので、地域おこし協力隊としての活動なのか、096k熊本歌劇団としての活動なのかに

よって整理しなければならぬので、コアミックスとも協議したい。



旭通公民館落成式

質 地籍調査事業について、国庫補助金の減額に伴い調査委託料が1,600万円ほど減額補正されているが、どれだけ調査面積に影響が出たのか。

答 大字永野原の調査55字、調査面積0.6平方キロメートルの減少となった。

質 通学路の危険箇所についてのどのような対応をされているのか。

答 令和3年7月から9月にかけて、教育委員会、学校、建設課、県道路維持課と危険箇所の洗い出しを行い、今後対策を実施していく。



町道中学校線(通学路)



小学生の下校中風景

産業厚生常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「高森町有機農業推進施設条例の一部改正について」「高森町国民健康保険条例の一部改正について」「令和3年度高森町一般会計補正予算」4件について担当者より詳細に説明を受け審議した結果、付託されたすべての議案を可とした。

◎高森町有機農業推進施設条例の一部改正

本件は、堆肥販売、配達料、受注作業代金、機械貸出料の見直し及び一部堆肥の販売中止に伴う改正であると説明を受けた。

・貸出時の貸出簿を正確にチェックする

- ・機材管理は貸出前に画像を、貸出後に立ち会い及びチェック
- ・利便性向上のため



アグリセンター貸出備品

臨機応変に対応すると答弁があり、審議した結果、可とした。

◎高森町国民健康保険条例の一部改正

本件は、令和4年1月1日から施行される国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴う改正であると説明を受けた。産科医療補償制度の見直しにより4,000円引き上げとなる。説明を受け審議した結果、可とした。

◎令和3年度各特別会計補正予算

担当課より詳細な説明を受け審議をした結果、可とした。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算

【主な質疑応答】

質 県道津留柳線単県事業負担金の増額予算を伺う。

答 昨年度県道津留柳線整備促進期成会が山都町と高森町で設立され、7月に県、県会議員、両町長を交えて現地調査を行った。そこで5力年計画の現工事を前倒し工事も含め追加事業の補正を組んだ。

質 集落支援員の活動を伺う。

答 現在ポイントチャンネルにおいて集落支援員が資料を作成し、1人ずつ活動報告をしている。毎年11月頃に次年度の計画も含めた報告を行っていく予定である。追加で購入するプリンター、文書保管庫は集落支援員の活動拠点に置くものである。

質 避難行動要支援者避難支援整備事業を伺う。

答 令和3年5月に災害対策基本法が改正され、今後5年以内に個別避難計画を策定することになった。当町では今後3年間で個別避難計画をすべて作成する予定にしている。現状では住民福祉課と社会福祉協議会で対応中であるが、個別の取り組みを強化するため、新たに調査をして詳しい計画を練り上げる。



高森町社会福祉協議会

質 農業活性化施設費の原材料費とは。

答 野草たい肥風まるのデザイン変更に伴う肥料袋の購入をする。デザインは6種の袋見本を提示し、住民に投票をして貰い決定した。ふるさと納税活用事業として計上する。



堆肥袋新デザイン (左)
堆肥袋旧デザイン (右)

【その他】

質 町道 大戸ノ口・本河原線道路舗装整備事業について。

答 11月30日に工事落札業者と契約を結んだ。工区を2つに分け、工期は2月24日としている。着工については年が明けてからとなる。地元住民に対しては、工事の際に全面通行止めを予定しており、決まり次第、通行止め期間・工事区間・工期の予告看板を設置し周知を行う。



町道大戸ノ口・本河原線

町民の声



後藤 雅子さん
(高森・昭和)

私が2021年4月に高森町の地域おこし協力隊となってから、早くも10カ月が経とうとしています。

2021年の3月までは航空会社で勤務しており、当時から全国各地の魅力を発掘し広めることに興味がありました。新型コロナウイルスの影響で、社内で地域おこし協力隊として全国各地で働く募集が出た際、「やってみよう!」と思い応募しました。数ある候補地の中から高森町を選んで応募したのは、家族や友人と旅行に来た際の大変楽しかった記憶や、観光資源の豊かさを感じ、水や自然の豊かさに魅了されたからです。

高森町には縁もゆかりもなく、当初は不安もありましたが、車の運転や、寒さの厳しい冬への対処法、鶴の子芋の掘り方等々、色んなことを教えてくださる優しい町の皆さんのおかげで何とか楽しく暮らすことができています。

現在は観光協会勤務しており、振り返ってみると2021年は、高森町の観光資源を覚えたり、観光で来町されたお客さんに案内をすることに必死だったように感じています。これからは今年発見した高森町の魅力を、様々な企画をする際や、高森町を対外的に広める活動をする際に活かしていきたいと考えています。

今後、高森町に南阿蘇鉄道やエンターテインメント、コンテンツを通じて、交流人口・関係人口や訪日外国人が増え、より一層活気のある観光立町になることを願っています。その実現に向けて町に貢献できるよう、精進してまいります。



後藤 清香さん
(上色見・洗川)

県外から、結婚を機に21年前、高森町民になりました。妊娠、出産、子育ての期間を高森で過ごしてきました。お陰様で周りの方たちも私を受け入れてくださり、子どもたちもよい環境で育つことが出来たと感謝しています。

私は今、役場のロビーで総合案内をしています。役場に來られる町民の皆さんと最初に言葉を交わす場所になりますので、緊張感はありますが、皆さんが気さくに話しかけてくださり、ありがたく思う日々です。町民の皆さんが安心して役場に來られるよう、感染症対策もしっかりして、ご案内をしていきます。

町民として感じたことは、今年度、高森町では新型コロナワクチンの接種が特設会場での集団接種で行われました。集団接種という形で実施されたことは分かりやすく、本当にありがたいことでした。他の市町村のように自分で接種会場を選んだり、予約できる医療機関を探したりするのは、高齢者にとっては難しいことだと思います。高森町は、コールセンターが一括して予約から問い合わせまで受け付け、高齢者については送迎も用意するという手厚さでした。役場に來られる町外の方々からも高森町は、接種環境が良いですねと言われることが多々ありました。

また、新聞などで見ますと、高森町は、他の市町村よりも2回目の接種が終わる方が多かったようです。今後、3回目の接種も始まると思いますが、また分かりやすい接種環境を、町民の皆さんに提供していただければと思います。

町村議会広報研修会報告

11月5日オンライン形式にて、町村議会広報研修会が開催され、議長及び議会広報特別委員4名と職員2名が出席した。

研修会では、熊本大学客員教授の越地真一郎氏による講演やコンクール表彰団体の紹介などが行われ、広報づくりのアドバイスなどを受けた。

この経験を活かし、今後町民の皆様が手にとって読みやすい広報づくりに努める。



編集後記

少し希望が見えた年の始まりと思いきやまたもや新たなコロナが…といささかうんざりの日々の到来。

今年もウィズコロナの年になるのでしょうか。

これまでの対策を怠らず、罹患しないよう健康に留意し1年を乗り切りたいと思います。

広報副委員長 後藤 清治



議会広報特別委員会

議長	佐伯 金也 (発行責任者)	委員	津留 智幸
委員長	牛嶋津世志	委員	後藤 巖
副委員長	後藤 清治		

